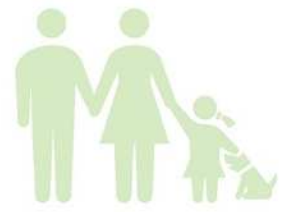


備【そなえ】え

いざというときに慌てない!!
日頃から災害に備える!



コミュニケーションを図って備える!!

自宅編



災害はいつ起きるかわかりません。
いざというときに慌てないよう家族で防災会議を開き、
日頃から防災意識を高めることが大切です。

自分の身を自分で
守ることを「自助」
っていうんだよ



役割分担を決める!



火を消す人、非常持ち出し品を管理する人など、災害時の役割分担を決めましょう。また、電気のブレーカーやガスの元栓の位置、消火器の位置と使い方などの確認も忘れずに。

連絡方法や集合場所を決める!



災害時に家族が一緒とは限りません。家族がバラバラになったときの連絡方法や、集合場所などを具体的に決めておきましょう。

裏表紙に記入しましょう

避難所を確認しておく!



自宅から避難所まで歩いてみましょう。避難ルートに危険な箇所がないかなどを確認しておきましょう。

ハザードマップで確認を

地域編



災害が発生した場合、町や防災関係機関も被災しています。
地域で力を合わせて助け合い、自分たちのまちは
自分たちで守るという「共助」の考えに基づいて行動することが大切です。

家族や地域で助け
合うことを「共助」
っていうんだよ



ご近所とコミュニケーションを!



災害時には近隣の住民同士の協力が必要です。ご近所との付き合いの輪を広げ、いざというときに助け合いましょう。

防災訓練に参加する!



いざというときのために避難訓練や消火訓練、応急救護訓練などに積極的に参加しましょう。

自主防災組織で話し合おう!



町内会や自治会の集まりなどを利用して、自主防災組織の活動、約束事について話し合いましょう。日頃の活動やコミュニケーションが災害に強い地域づくりにつながります。